

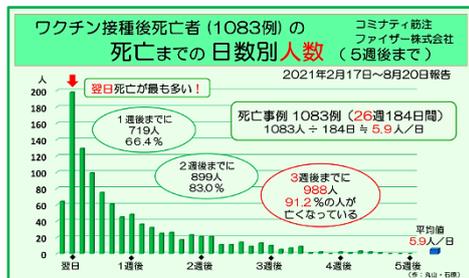
## TRANSITION TO HEALTH (100)

### “ 新型コロナウイルス感染 ②6 ”

～ mRNA ワクチンの「安全性」「予防効果」は未確認？ ～

#### はじめに

新型コロナ感染の第5波は、8月20日の新規感染者（正確にはPCR検査陽性確認者と言うべき）25,990人をピークに減少に転じ、その後一か月が経過した9月20日には2,236人にまで減少してきた。これをメディアに登場する感染症専門家たちは「ワクチン接種が進んだ効果によって高齢者の感染者が減少し、重症化率も下がっている」とコメントしている。



しかし、これまでの厚労省の「ワクチン接種後死亡事例」の報告数とその内容、私が作成した『死亡までの日数別人数』のグラフ(左)、また、厚労省発表の「人口動態統計でみる『対前年比較での月別の死亡者数』の増加」などから、実際には

「感染したら重症化する可能性が大きい基礎疾患を有する高

#### ワクチン接種後死亡事例について (2021.07)

ワクチン推進派	ワクチン慎重派
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ ワクチン接種は関係ありません。</li> <li>★ 高齢のため、あるいは、高血圧・心臓病・糖尿病などの基礎疾患のためです。</li> <li>★ たまたまワクチンを接種した後に起こっただけです。</li> <li>★ 年のせいです。持病のせいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 感染したら重症化してしまうような基礎疾患を有する高齢者が、感染する前にワクチン接種の副反応で亡くなっている。</li> <li>★ あるいは、感染しても死ななかったはずの高齢者までもが、ワクチン由来のスパイク蛋白・毒素に侵されて命を落としてしまっている。</li> </ul>

齢者が、感染する前にワクチン接種の副反応で亡くなっている」また、「感染しても亡くなるほどではなかったはずの基礎疾患を有しない高齢者までもが、ワクチン由来のスパイク蛋白・毒素に侵されて、血栓症に関連した脳・心臓血管疾患などで命を落としてしまった」というのが事実ではなかろうかとお伝えしてきた。

“超高齢者や重篤な基礎疾患を有する人ほど、いわゆる副反応としてのワクチン接種後死亡の危険性が高いので、接種しないで欲しい！”というのが私の個人的な見解である。

#### 予防接種説明書(ファイザー社製)には『予防効果は明らかでない』とある

COVID-19 ワクチン(コナチ筋注)の審議結果報告(令和3年2月12日)では『・・・現時点で本剤接種後長期の十分な安全性データは得られていない・・・』と報告されていたことはお話した(No.098)。緊急承認された現行のワクチン接種は、我々ヒトを対象とした『治験』であるということである。さて、皆さんは、自身のお手元に届いた「新型コロナワクチン予防接種についての説明書(ファイザー社製)」にきちんと目を通されたでしょうか? 説明書には、右のように『現時点では感染予防効果は明らかになっていません。』とハッキリと正直に書かれている。

新型コロナワクチン ファイザー社製  
予防接種についての説明書

現時点では感染予防効果は明らかになっていません。

今までマスメディアが伝えてきた『90%以上の有効性』というのは、『ワクチン未接種者(プラセボ群)はほぼ100%感染する』『いわゆる自然免疫、獲得免疫、交差免疫などでは発症を予防することは100%不可能で、ワクチン接種で作られる抗体だけに予防効果がある』ということを大前提とした『有効性に対する期待値』であって、ワクチン論文特有の、ワクチン・メーカーに都合の良い、大きな期待を抱かせて誤解を招く数字マジックである。(ワクチンの有効率: 95% ⇒ 実は0.71% 詳細は本通信 No.091 参照)



メーカーも誇大広告では気まずいので(?)、正直に『予防効果は明らかではない』ことを認めて、さり気なく記載しているのでしょうか?

## ワクチン接種政策の現実 接種後死亡に『因果関係なし』接種は自己責任?

PCR検査陽性者(2020年、96%が偽陽性とCDCが告白した)の死亡は全て『コロナ死』扱いとされてきた(日本でも2020年6月、厚労省が通達)。直接死因が心筋梗塞・脳出血・交通外傷であっても、検査陽性なら『コロナ死』として届けるよう指示されていた。

ところが、ワクチン『接種後死亡事例』はほとんど全て『因果関係なし』と判定され『基礎疾患死』『自然死』扱いである。接種後に異常をきたし、当日あるいは翌日死亡しても『因果関係なし』とされているのである。接種直後から急変して**4時間以内**に死亡し、かつ、医師から報告された場合に限り『副反応死』と扱われ、はじめて4,420万円が補償される可能性が出てくるのである。接種後4時間を過ぎた死亡事例に対しては、報告義務は特になく、医師の裁量に任されているようである。

実際には、『接種後死亡事例報告』をする医師は全医師の1%未満に過ぎないとも言われている。どうも、「ワクチン被害は限りなく少なく、0になるように」報告を控え、「コロナ感染死は限りなく多くなるように」量増し報告しようとする意図が働いているように、私にはみえてしまう。過去のSARS-CoVのワクチン開発時には、動物実験ではほとんどの動物が死んでしまったため、ワクチン開発は中断せざるを得なかったが、今回(CoV2)は、マウス、ベレット、うさぎ、ネコ、アカゲザルなどの小型哺乳動物での実験は免除されており、いきなり大型の哺乳動物である「私たち人間で治験」している状況である。

## COVID-19の「mRNA ワクチン」は・・・「SARS-CoV2」(ウイルス)より危険か!? ゲイツ財団 元・ワクチン開発局長 ワクチン接種の『緊急停止』を求めている

ゲイツ財団の元・ワクチン開発局長でウイルス学者のギアード・バンデン・ボッシュ博士は、ビル・ゲイツ氏の管理下を飛び出して反旗を翻し、「新型コロナワクチンは、人間の“あらゆる”免疫能力を破壊して死に導く」「“COVID-19”ワクチンは殺人的で、大量の人々への接種は、抑制不能のモンスターを産み出す」そして「コロナワクチン接種の『緊急停止』を求める」内部告発の書簡を、WHO、欧米各国政府の保健当局、科学者、専門家に送付していたことが判明している。

「コミナティ筋注」などのmRNAワクチンは、従来のワクチンとは違い、弱毒化されたウイルスも抗原タンパクも含まれておらず、ウイルスのmRNAという遺伝子をLNPで抱合したものである。従来のワクチンの定義から外れるので「ワクチン(Vaccine)」と呼ぶこと自体を疑問視する科学者も多い。

mRNAワクチンは、ウイルスの**スパイクタンパク**という**毒素**を我々の体内の細胞で作らせるものである。我々ヒトが自分で作ったタンパクに対して、我々の免疫系が「異種タンパク」であると正しく認識して、有効に働く中和抗体をきちんと作る

のかどうか疑問である。作られた抗体が不安定抗体・不完全抗体、悪玉抗体として働いてしまうのではないかと危惧される。

また、副反応として、稀に若年者で「血栓症」が発生すると報じられているが、血栓症は全ての年齢層にあまねく発生する通常反応(正反応)と考えられる(前号No.099にて詳述)(個人的見解)。(上図:前号までの内容の一部を図表化)

**おわりに** 高齢者、基礎疾患を持つ人、若年者へのワクチン接種は、是非、控えたいものである(個人的見解)。

### ワクチン接種政策の現実 (2021.08)

厚生労働省・・・審議結果報告(2021.02.12)  
「・・・安全性データは得られていない」  
「安全である」とは言っていませんよ!

Pfizer社・・・予防接種についての説明書  
「感染予防効果は明らかになっていません」  
「予防できる」とは言っていませんよ!

打ちたい・接種したいと言って**承諾書**にサインしたのは  
あなた自身ですよ! ⇒ **自己責任**

### COVID-19ワクチンは“ワクチン”と呼べるのか? (2021.07作成)

生ワクチン(弱毒化)	不活化ワクチン	mRNAワクチン
<b>生きたウイルスの全粒子</b>	<b>死んだウイルスの欠片</b>	<b>スパイク蛋白の遺伝子</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>*強い免疫・持続が長い(ほぼ終生免疫)</li> <li>*免疫力が弱い人では生ワクチンで発症してしまうことがある。</li> <li>*近年発症していた<b>ポリオ</b>の殆んどは自然発症ではなく<b>生ワクチン由来</b>の発症と疑われていた。 『被接種幼児(糞便)から他の幼児』(人→人)も。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*免疫原性が弱い 弱い免疫・持続が短い 毎年接種しなければならぬ?(有効性に疑問?)</li> <li>*インフルエンザHAワクチン抗体依存性感染増強(ADE)や<b>サイトカインストーム</b>の原因となっているか?</li> <li>ワクチン慎重派)インフルエンザHAワクチン接種は… 感染し易く、重症化もし易い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*遺伝子組み換え技術 コロナウイルスの<b>スパイク蛋白</b>のmRNAをナノ脂質で抱合して筋肉注射する。</li> <li>*ウイルスの<b>毒素</b>・スパイク蛋白そのものを体内で作る。</li> <li>*自然感染より<b>危険か!!</b></li> <li>*増産されたスパイク蛋白を制御できなければ<b>死</b>を招く。</li> </ul>
<b>接種後死亡(副反応死)</b>		

### mRNAワクチン: 血栓症は正反応 (2021.07)

ワクチン推進派	ワクチン慎重派
<ul style="list-style-type: none"> <li>★若年者に稀に発生する<b>副反応</b></li> <li>mRNAは注射部位局所の筋肉細胞の中にだけとどまり、産生されたスパイクタンパクは筋肉細胞の表面にだけ発現する</li> <li>・・・は、<b>全くのウソ!</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★すべての年齢層に<b>遍く</b>発生し得る<b>正反応</b></li> <li>mRNAは血流に乗って全身(副腎・脾臓・卵巣・精巣にも)の毛細血管に到達し、スパイクタンパクを産生し続け、血管内皮細胞を傷つけ、炎症を起こし、<b>血小板を凝集</b>させ、<b>血栓症</b>を発生させ、心筋梗塞・心不全、脳梗塞などの<b>心臓・脳血管</b>疾患などを引き起こす(<b>失明</b>も多い)。</li> </ul>